

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	政治		担当者	新崎 哲也	科目必修区分	必修
授業概要	現代日本の政治及び国際政治の機能や体制、基本的人権の内容や判例を学んでいく。テキストやプリント、またパワーポイントのスライドや映像教材などを活用し、問題演習を通して各項目の理解を深めていく。					
到達目標	①現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を修得する。 ②評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	政治授業オリエンテーション、政治の基本概念				1
	2	近代国家の基本原則、国家形態(夜警国家、福祉国家)				1
	3	国家論(社会契約説)、政治制度論、権力分立論、議院内閣制(イギリス、日本)				1
	4	政治制度論、大統領制(アメリカ、フランス、ドイツ)				1
	5	政治過程論 政党制、選挙制度				1
	6	政治過程論 日本の選挙制度、圧力団体				1
	7	日本国憲法の特徴 明治憲法、日本国憲法の三大原則				1
	8	基本的人権総論 人権保障の歴史、公共の福祉、国民の三大義務				1
	9	包括的基本権(幸福追求権、新しい人権、平等権)				1
	10	精神的自由権				1
	11	社会権				1
	12	能動的権利と受益権				1
	13	憲法改正の手続き				1
	14	国会の機能と運営				1
	15	内閣の機構と運営				1
	16	裁判所の機構と運営				1
	17	地方自治				1
	18	時事問題				1
	19	問題演習				13
	20					
	21					
	22					
	23					
	合計時間数					31
教科書	大原出版株式会社 政治 テキスト・問題集・解答・レジュメ 実戦問題集					
時間外学習	予習:前日に次回学習範囲の教科書に目を通す ※15～30分程度					
	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※60分程度					
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	経済		担当者	下地 マリア	科目必修区分	必修
授業概要	現代の日本及び世界の経済の動向、現代経済の仕組みや機能などについて、テキストやプリント、またパワーポイントのスライドや映像教材などを活用し、授業を展開する。また、問題演習を通して各項目の理解を深めていく。					
到達目標	①現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を習得する。 ②評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	科目ガイダンス(経済に関する知識の確認、到達目標の確認等)				1
	2	経済社会の変容と経済体制				1
	3	現代の企業				1
	4	現代の市場				1
	5	国民所得				1
	6	経済成長と景気循環				1
	7	通貨制度と金融制度				2
	8	財政制度と財政政策				2
	9	貿易と外国為替				2
	10	日本経済の動向				2
	11	国際経済の動向				2
	12	問題演習				12
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	合計時間数					28
教科書	大原出版株式会社 経済 テキスト・問題集・解答・レジュメ					
時間外学習	予習:前日に次回学習範囲の教科書に目を通す ※15～30分程度					
	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30～60分程度					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
	実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習		講義時期	前期	
授業科目	社会		担当者	伊佐 龍真		科目必修区分	必修	
授業概要	現代社会をとりまく社会構造(労働や年金等の各種法令や制度等)や環境問題、国際問題についてテキストを中心に新聞、ニュース等を活用しながら知識を身につける。また社会人になった際、身に付けた知識を業務や自身の労働環境の改善に活かしたり、社会保障を活用することができるようになることを目的とする。							
到達目標	①労働に関する基礎を身につけ、労働法規や現在の労働問題を説明できる。 ②環境問題と人間社会の関連性を見つけ、今後起こりうる社会・環境問題を予測することができる。 ③章末テスト(豆テスト)で80%以上正解することができる。							
授業計画	内 容						授業時間数	
	1	【労働問題】	①労働条件の7大原則と労働基準法					1
	2		②労働組合法と労働関係調整法					1
	3		③近年の労働法規について(労働審判法や労働契約法)・日本的雇用慣行(終身雇用制度・年功序列賃金制・企業別組合)					1
	4		④様々な雇用形態、失業・求人について					1
	5		⑤女性の労働事情、男女雇用機会均等法、育児・介護休暇法					1
	6		⑥現代日本の雇用問題(高齢者や障がい者の雇用について)					1
	7	【社会保障】	①社会保障制度の成り立ちと日本における社会保障制度(概要)					1
	8		②少子化問題と対策、高齢化問題と対策					1
	9		③生活保護と社会福祉について、社会保障費の財源と給付					1
	10		④医療保険制度と年金制度の改革、介護保険制度について					1
	11	【環境問題】	①足尾銅山鉱毒事件、四大公害病、有機物質による公害について					1
	12		②公害対策と環境対策、環境の保全について					1
	13		③循環型社会とリサイクル関連法について					1
	14		④環境汚染と環境破壊					1
	15		⑤環境保全について					1
	16	【国際関係】	①国際社会の成り立ちと国際法について					1
	17		②国連の各種機関と活動内容、条約や宣言について					1
	18		③国連以外の国際機構と国際問題					1
	19		④日本のODAと安全保障					1
	20	過去問演習						2
	21							
	22							
	23							
	24							
	25							
	合計時間数						21	
教科書	大原出版株式会社 社会 テキスト・問題集・解答、プリント 実戦問題集							
時間外学習	予習:前日に次回学習範囲の教科書に目を通す ※15~30分程度							
	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30~60分程度							
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。							
担当詳細	教員		備考					
実務経験紹介								

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	倫理		担当者	新崎 哲也	科目必修区分	必修
授業概要	東洋及び西洋の主要な思想家とその思想の特徴について学び、人間としての在り方や生き方について理解を深めていき、現代の人間社会の課題を考察していく。					
到達目標	①東洋及び西洋の主要な思想家とその思想の学習を通し、人間存在や人生の意味や価値に関わる課題について深く考察し、自己の人間形成に努める実践的意欲を高めることを目標とする。 ②評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	科目オリエンテーション 第1章 西洋思想の源流 第1節 ギリシャの思想				1
	2	第1章 西洋思想の源流 第2節 キリスト教の思想				1
	3	第2章 西洋の近代思想 第1節 ルネサンスと宗教改革				1
	4	第2節 経験論と合理論				1
	5	第3節 社会契約説 第4節 功利主義				1
	6	第5節 ドイツ観念論				1
	7	第6節 社会主義 第3章 現代思想 第1節 プラグマティズム				1
	8	第2節 実存主義				1
	9	第3節 精神分析学・心理学 第4節 フランクフルト学派				1
	10	第5節 構造主義 第6節 文明論(歴史学・人類学)				1
	11	第7節 ヒューマニズム 第8節 フェミニズム				1
	12	まとめテスト 西洋思想				3
	13	第4章 東洋思想の源流 第1節 仏教				1
	14	東洋思想の源流 第2節 中国の思想 諸子百家と儒学の発展				1
	15	第5章 日本の思想 第1節 古代日本思想 第2節 日本の仏教の形成				1
	16	第3節 日本の儒学 第4節 国学と洋楽				1
	17	第5節 民衆の思想 第6章 日本の近代思想 第1節 啓蒙思想				1
	18	第2節 キリスト教思想 第3節 明治後期から大正期の思想				1
	19	まとめテスト 東洋思想				3
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	合計時間数					23
教科書	大原出版株式会社 社会 テキスト・問題集・解答 実戦問題集					
時間外学習	予習:前日に次回学習範囲の教科書に目を通す ※15~30分程度 復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30~60分程度					
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	世界史	担当者	古堅	科目必修区分	必修
授業概要	世界各国の古代から現代にいたる政治、経済、文化、宗教の変遷を知り、現在起きている世界の諸問題を多角的視野から学ぶ。				
到達目標	世界の歴史の展開を地理的条件や日本の歴史と関連付け、文化の多様性と現代世界を広い視野から考察させることによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
授業計画	内 容				授業時間数
1	科目オリエンテーション、古代文明、四大文明、オリエント世界の動向				1
2	中国史(殷・周)				1
3	中国史(秦・前漢)				1
4	中国史(新・後漢・魏・晋・南北朝時代)				1
5	中国史(隋・唐・宋)				2
6	中国史(五代十国時代・北宋・南宋)				1
7	中国史(モンゴル帝国・元・明)				1
8	中国史(清の建国、三角貿易、アヘン戦争、アロー戦争)				2
9	中国史(清末期、太平天国、変法自強運動、義和団の乱、辛亥革命)				2
10	中国史の総まとめテスト				2
11	中国史過去問演習(国家一般職、海上保安、刑務官、裁判所、警察官)				2
12	古代地中海世界(古代ギリシャ)				1
13	古代地中海世界(古代ローマ)				1
14	古代地中海世界(キリスト教の成立と発展) 中世ヨーロッパ(フランク王国と神聖ローマ帝国、ビザンツ帝国)				1
15	中世ヨーロッパ(西欧封建社会とローマ教会、十字軍と封建社会の崩壊、 中世ヨーロッパ諸国)				1
16	古代・中世ヨーロッパ確認テスト				1
17	近代ヨーロッパの誕生(ルネサンス)				1
18	近代ヨーロッパの誕生(大航海時代:スペイン、ポルトガル)				1
	近代ヨーロッパの誕生(宗教改革:ルター、カルヴァン、ヘンリ8世)				1
19	16-18世紀のヨーロッパ(西欧諸国の絶対主義:スペイン、オランダ)				1
	16-18世紀のヨーロッパ(西欧諸国の絶対主義:イギリス、フランス、三十年戦争)				1
	16-18世紀のヨーロッパ(イギリスの市民革命、18世紀の絶対主義と植民地戦争)				1
20	16~18世紀西洋史の確認テスト				1
21	市民社会の成長(アメリカ独立革命、フランス革命)				2
22	市民社会の成長(産業革命、ウィーン体制下の欧米)				2
23	19世紀の欧米(ウィーン体制の崩壊、イギリスとフランス)				2
24	19世紀後半の欧米(イタリア・ドイツの国家統一、ロシアの近代化、アメリカ合衆国の発展、19世紀の文化)				1

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	世界史		担当者	古堅	科目必修区分	必修
	25	第1次世界大戦(帝国主義と列強諸国、列強による世界分割、第1次世界大戦とロシア革命)				1
	26	ヴェルサイユ体制とアジアの民族運動(ヴェルサイユ体制)				1
	27	ヴェルサイユ体制とアジアの民族運動(アジアの民族運動)				1
	28	第2次世界大戦(世界恐慌、ファシズムの台頭、第二次世界大戦)				1
	29	第2次世界大戦後の世界(冷戦と民族運動:国際連合の成立、中華人民共和国の成立、朝鮮戦争、インドの独立)				1
	30	第2次世界大戦後の世界(冷戦と民族運動:パレスチナ問題、アラブ民族運動、アフリカの独立、冷戦の終結)				1
	31	周辺諸国の動向(朝鮮、東南アジア、インド、東西交流)の講義				1
	32	イスラム世界(イスラム世界の成立と発展、イスラム世界の分裂、インドのイスラム化とムガル帝国)の講義				1
	33	総まとめテスト				2
	合計時間数					45
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集・解答解説、実践問題集・解答解説、ドリル					
時間外学習	予習:授業の項目を確認し、講義までにその分野のテキストを読み込む。(15分～30分)					
	復習:実施された項目の授業のノートまとめを行い、演習問題を解く(30分程度)※選択肢の見直し					
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価					
	出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	日本史	担当者	伊佐	科目必修区分	必修
授業概要	日本の古代から現代にいたる政治、経済、文化の変遷、諸外国との関係を学び、現代の日本の成り立ちを理解する。				
到達目標	1. 我が国の歴史を世界史や地理的条件と関連付け、総合的な歴史観を身に着け、考察することができる。 2. 日本の伝統、文化、国民性を理解し、各時代の日本の特徴を文章にまとめることができる。 3. 諸外国と日本の歴史を比較し、課題について論じることができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	縄文・弥生・古墳時代の講義			1
	2	聖徳太子、天智天皇、天武天皇、持統天皇の政治についての講義			1
	3	奈良時代の政治についての講義			1
	4	摂関政治・院政についての講義			1
	5	源氏と平氏の権力争いについての講義			1
	6	鎌倉幕府の成立についての講義			1
	7	守護・地頭の仕事、承久の乱についての講義			1
	8	執権(3代北条泰時・5代北条時頼)についての講義			1
	9	元寇についての講義			1
	10	鎌倉幕府滅亡から南北朝統一までの流れについての講義			1
	11	室町幕府の役職・しくみについての講義			1
	12	室町時代の文化の特徴についての講義			1
	13	織田信長・豊臣秀吉の政治についての講義			1
	14	徳川家康(初代)・徳川秀忠(2代)の政治についての講義			1
	15	徳川家光(3代)の政治、鎖国体制についての講義			1
	16	徳川家綱(4代)・綱吉(5代)・新井白石の政治についての講義			1
	17	元禄文化・享保の改革についての講義			1
	18	田沼意次・寛政の改革についての講義			1
	19	各国の来航・天保の改革についての講義			1
	20	開国から条約締結、安政の大獄、桜田門外の変までの流れの講義			1
	21	薩摩・長州藩の動き、大政奉還から戊辰戦争までの流れについての講義			2
	22	明治政府の様々な政策についての講義			2
	23	自由民権運動の流れについての講義			2
	24	条約改正の中心人物と政策についての講義			2
	25	日清戦争、日露戦争の内容についての講義			2
	26	大正期の各内閣(桂園時代、大隈重信内閣、寺内正毅内閣、原敬内閣)の政策についての講義			2
	27	大正末期(高橋内閣・清浦内閣・加藤高明内閣)、昭和初期(若槻内閣・田中義一内閣)の政策についての講義			2
	28	世界恐慌から日中戦争までの内閣の政策についての講義			2
	29	GHQと戦後の内閣の政策についての講義			2
	30	戦後の内閣(高度経済成長期～平成)の政策について講義			2
	合計時間数				40

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	日本史	担当者	伊佐	科目必修区分	必修
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集、ドリル				
時間外 学習	予習:授業前日までに予定している講義のテキストを読み込む。(15分～30分)				
	復習:授業の内容をノートにまとめ、類似問題を3問解き、見直しを行う。(30分程度)				
成績評価 方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価				
	出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	地理	担当者	古堅	科目必修区分	必修
授業概要	日本や世界の環境や文化、地形の成り立ち等を学び、地域的、社会的な構造を学ぶ。				
到達目標	1.地政学的視野を身に着け、現代世界の諸問題について考察し、文章にまとめることができる。 2.諸外国の地誌と歴史を学び、地理的な位置関係を踏まえ、多様な価値観を身に付ける。 3.資源、エネルギー、食料など物流の流れを理解し、日本における課題を考察することができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	世界の地形・山脈の分類(安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯)			1
	2	侵食平野(準平原、構造平野)・堆積平野(扇状地、三角州、谷底平野)			1
	3	氷河地形(カール、モレーン、ホーン)、カルスト地形、世界の海流			1
	4	世界の風(貿易風、偏西風、季節風、フェーン現象、やませ、熱帯低気圧)			1
	5	気候・植生・土壌 (熱帯・乾燥)			1
	6	気候・植生・土壌 (温帯・冷帯・寒帯・高山)			1
	7	土壌(ラトソル・チェルノーゼム・プレーリー土・ツンドラ土・ポドゾル)			1
	8	食料の生産(アジア・ヨーロッパ、北米・南米・オセアニア地域の農業)			1
	9	エネルギー資源と原料資源(電力・主要炭田・主要油田の位置関係)			1
	10	エネルギー資源と原料資源(工業化と工業地域・主要資源山地の位置関係)			1
	11	工業化と工業地域(主要資源山地の位置関係)			1
	12	地図の特色と利用(メルカトル図法・正距方位図法)			1
	13	生活と地域(村落と都市、人口の地域的特色:人口ピラミッド)			1
	14	生活と地域(国土と住民、交通・通信の発達)			1
	15	生活と地域(世界の環境問題:地球温暖化、酸性雨、砂漠化、オゾン層)			1
	16	日本の地理 日本の国土(自然環境・気候)			1
	17	世界の国々 中国(地誌)			1
	18	世界の国々 東南アジア(地誌):概要、フィリピン、ベトナム			1
	19	世界の国々 東南アジア(地誌):タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア			1
	20	世界の国々 南アジア(地誌):概要、インド、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ			1
	21	世界の国々 西アジア(地誌):概要			1
	22	世界の国々 西アジア(地誌):イラン、イラク、サウジアラビア、トルコ、イスラエル			1
	23	世界の国々 アフリカ(地誌):概要			1
	24	世界の国々 アフリカ(地誌):エジプト、ナイジェリア、ケニア、エチオピア、コンゴ、南アフリカ			1
	25	世界の国々 ヨーロッパ(地誌):概要			1
	26	世界の国々 ヨーロッパ(地誌):北欧(スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、デンマーク)			1
	27	世界の国々 ヨーロッパ(地誌):西欧(イギリス、フランス、ドイツ、ベルギー、オランダ)			1
	28	世界の国々 ヨーロッパ(地誌):南欧(イタリア、スペイン、スイス、オーストリア)			1
	29	世界の国々 ヨーロッパ(地誌):東欧・ロシア(ポーランド、ハンガリー、ルーマニア、チェコ、ロシア、ウクライナ)			1
	30	世界の国々 アングロアメリカ(地誌):カナダ、アメリカ			1
	31	世界の国々 ラテンアメリカ(地誌):概要			1
	32	世界の国々 ラテンアメリカ(地誌):メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、ベネズエラ、ペルー、チリ、キューバ、パナマ			1
	33	世界の国々 オセアニア(地誌)			1
	34	世界の国々 オセアニア(地誌):オーストラリア、ニュージーランド			1
	35	過去問演習(国家一般職・裁判所・刑務官・海上保安・警察官)			6
	36				
	37				
38					
	合計時間数				40
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集、ドリル				
時間外学習	農林水産省のHPから各国(テキストに記述されている国)の農業の状況を調べる。				
	外務省のHPの国・地域から、地図上の位置と国の概要を調べる。				
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(15P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

シラバス

令和 6 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	生物	担当者	少貳	科目必修区分	必修
授業概要	細胞の機能、各生物の特徴、体内のしくみなどの基礎的知識を学ぶ。その上で実生活に活用できる生物についての知識を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物分野に興味を持てるようになる。 2. 文章から問題出題者の意図を理解し、解答を導きだすことができるようになる。 3. 講義や問題集における演習問題を解くことが出来るようになる。 4. 上記生物分野の評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	細胞小器官の各構造とはたらきの講義			1
	2	体細胞分裂と減数分裂の違いの講義			1
	3	各単細胞生物の名称・特徴、動物の組織の分類の講義			1
	4	酵素の特徴、働き、各消化酵素の基質の分類の講義			1
	5	好気呼吸、嫌気呼吸の各過程の特徴の講義			1
	6	陰生・陽生植物の光合成速度、光合成の進行過程についての講義			1
	7	窒素固定のしくみや根粒菌のはたらき、各消化酵素の作用についての講義			1
	8	メンデルの3つの法則、一遺伝子雑種、二遺伝子雑種のF1・F2の表現型についての講義			1
	9	不完全優性遺伝、致死遺伝子を含む遺伝、複対立遺伝子(ABO式血液型)、補足遺伝子を含む遺伝についての講義			1
	10	遺伝に関する研究者、タンパク質の合成過程について講義			1
	11	ヒトの神経細胞の各部位、ヒトの脳の各部位のはたらきについての講義			1
	12	動物の行動の実験についての講義			1
	13	循環系の血液の流れについての講義			1
	14	免疫のしくみ、肝臓の働きについての講義			1
	15	腎臓の働き、自律神経系の働きについての講義			1
	16	内分泌腺と動物・植物ホルモンの働きについての講義			1
	17	マカラスムギの幼葉鞘の実験、短日植物・長日植物についての講義			2
	18	各生存曲線の型、種間競争、すみわけの相互関係についての講義			2
	22				
23					
	合計時間数				20
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集、ドリル				
時間外学習	<p>授業で学習した分野の類似問題を身に着くまで時間を惜しまずに勉強することを奨める。</p> <p>復習の時間でノート作成や問題の解き直し等に取り組むと学習効果が高い。</p>				
成績評価方法	出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 6 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	地学		担当者	少貳	科目必修区分	必修
授業概要	地球の内部構造・環境や太陽系の構成・宇宙の構造などの基礎的知識を身につけ、現代における自然災害や環境の変化の仕組みについて学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地学の基本的な原理・法則を学び、地学現象における探求心を高め、科学的視野を広げる。 2. 地学の基礎的な知識を元に、地球環境の変化から起こりえる自然災害等を推測し、解決策を考えることが出来る。 3. 評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。 					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章1 地球の形と内部構造				1
	2	第1章2 動く大地(大陸移動説・プレートテクトニクス・海溝・海嶺)				1
	3	第1章3 地震(地震波・震源と震央・震度とマグニチュード)				1
	4	第2章1 岩石(造岩鉱物・火成岩) マグマの性質・火山				1
	5	第2章2 堆積岩・変成岩(堆積岩の種類と変成作用)				1
	6	第3章1 大気と海洋(大気の種類と熱収支)				1
	7	第3章2 雲(断熱変化・雲の形成・フェーン現象)				1
	8	第3章3 地球をめぐる大気(風の原動力・風の吹き方)				1
	9	第3章4① 気象現象と日本の四季(高気圧・低気圧・前線)				1
	10	第3章4② 気象現象と日本の四季(台風・日本の四季)				1
	11	第3章5 海洋と海水(海水の状態、海水の垂直分布・海流)				1
	12	第4章1 太陽系と宇宙の構造 (地球の運動・自転と公転)				1
	13	第4章2① 太陽系と宇宙の構造 (太陽系と惑星・惑星の特徴)				1
	14	第4章2② 太陽系と宇宙の構造 (惑星の運動・ケプラーの法則)				1
	15	第4章2③ 太陽系と宇宙の構造 (太陽・太陽活動)				1
	16	第4章3 太陽系と宇宙の構造 (恒星・HR図・恒星の進化)				1
	17	第5章 地球と人類 (地層の比較・示準化石・示相化石・地質年表)				1
	18	確認テスト				3
	22					
23						
24						
	合計時間数					20
教科書	資格の大原 公務員講座 自然科学テキスト スタンダード問題集 ドリル レジューメ					
時間外学習	NHK高校講座、NHKサイエンスゼロ視聴、類似問題(2, 3問)を解き、直しを行う。 授業前日までにテキストを読み込む 15分～30分					
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	数的推理	担当者	片山	科目必修区分	必修
授業概要	「速さ」「仕事算」「場合の数」など数学の基礎的分野の解法を習得し、数学的・算術的な思考力・推理力・論理的思考力を養う。				
到達目標	公務員試験に出題される、方程式・割合・速さ・整数計算パズル・仕事算・場合の数・確率の評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第1章 方程式・不等式 第1節			1
	2	第1章 方程式・不等式 第2節			1
	3	第1章 方程式・不等式 第3節			1
	4	第2章 整数・計算パズル 第1節、第2節			1
	5	第2章 整数・計算パズル 第3節			1
	6	第2章 整数・計算パズル 第4節			1
	7	第2章 整数・計算パズル 第5節			1
	8	第2章 整数・計算パズル 第6節			1
	9	第3章 割合と比 第1節			1
	10	第3章 割合と比 第2節			1
	11	第3章 割合と比 第3節、第4節			1
	12	第4章 速さ 第1節、第2節			1
	13	第4章 速さ 第3節			1
	14	第4章 速さ 第4節、第5節			1
	15	第5章 その他の文章題 第1節			1
	16	第5章 その他の文章題 第2節			1
	17	第5章 その他の文章題 第3節、第4節			1
	18	第6章 場合の数 第1節			1
	19	第6章 場合の数 第2節			1
	20	第7章 確率 第1節			1
	21	第7章 確率 第2節			1
	22	第7章 確率 第3節			1
	23	スタンダード問題 第1章			3
	24	スタンダード問題 第2章			3
	25	スタンダード問題 第3章			3
	26	スタンダード問題 第4章			3
	27	スタンダード問題 第5章			3
	28	スタンダード問題 第6章			4
	29	スタンダード問題 第7章			4
合計時間数					45

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	数的推理	担当者	片山	科目必修区分	必修
教科書	数的推理[問題編・解答編]、スタンダード問題集数的処理[問題編・解答編]				
時間外 学習	課題が残れば何度でも演習のやり直しを求める。 なお、はじめのうちは毎時間のように小テストを行う。				
成績評価 方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	判断推理	担当者	片山	科目必修区分	必修
授業概要	「位置・方位」「論理」「対応」「順序」「暗号」「推理」など、複数ある条件の中から文章を正確に読み取り、解答を導き出す力と文章読解能力を養う。表や図を活用しながらパターンを作成し、問題				
到達目標	1.文章問題から問題出題者の意図を理解し、図化できるようになる。 2.講義や問題集における演習問題を解くことが出来るようになる。 3.評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス			1
	2	論理:三段論法			1
	3	論理:ド・モルガンの法則			1
	4	論理と集合			1
	5	集合:要素の個数			1
	6	集合:キャロル図			1
	7	順序の確定			1
	8	順序の変動			1
	9	順序の数値条件			1
	10	時計のずれ			1
	11	位置と方位:位置・座席表			1
	12	位置と方位:円卓・議長席・道を隔てて			1
	13	位置と方位:方位・作図			1
	14	対応:対応関係(2集合)			1
	15	対応:対応関係(3州合以上)			1
	16	対応:スケジュール表			1
	17	対応:対応の数値条件			1
	18	勝敗:リーグ戦			1
	19	勝敗:トーナメント			1
	20	ウソの発言			1
	21	推理・手順			1
	22	暗号			1
	23	チェックテスト			1
	24	論理・集合の要素の個数 演習			2
	25	順序・対応・位置と方位 演習			1
	26	勝ち負け・ウソの発言 演習			1
	27	推理手順・暗号 演習			1
	28	過去問演習			12
	29				
	30				
	31				
	合計時間数				40
教科書	資格の大原 公務員講座 判断推理編問題集 実戦問題集				
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題の演習を1問5分以内で解けるように復習する。(5問程度) 復習の時間で問題の解き直し等に取り組むこと。				
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	講義・演習		講義時期	前期	
授業科目	空間把握・図形		担当者	崎原 竜作		科目必修区分	必修	
授業概要	図形の面積、体積や断面図の面積など、公式から答えを導いていく力を養う。また、空間把握能力を身に付けるため、図形の展開図、軌跡、投影図など、多角的に物体をとらえる力を演習問題を通して養っていく。							
到達目標	1.各授業の演習時間において、他者に言葉や図を書いて説明することが出来る。 2. 評価テストにおいて80%以上の正答率を目標とする。							
授業計画	内 容							授業時間数
	1	第1章 折り紙 1.2.3 第2章 回転の軌跡 1.2						1
	2	第2章 回転の軌跡2.3.4.5 第3章 正多面体・展開図1.2.3						1
	3	第3章 正多面体・展開図4.5.6.7.8.9.10						1
	4	第4章 平面図形の構成1.2.3.4.5.6						1
	5	第5章 サイコロ1.2.3.4						1
	6	第6章 見取図と投影図・積み木10月.2.3.4.5.6.7.8.9						1
	7	第7章 立体の切断・回転体1.2.3.4.5.6						1
	8	第8章 一筆書き1.2.3 第9章 平面図形の計量1.2.3.4.5						1
	9	第9章 平面図形の計量6.7.8						2
	10	第9章 平面図形の計量9.10.11.12.13						2
	11	第9章 平面図形の計量14.15.16.17						2
	12	第9章 平面図形の計量18.19.20						2
	13	第9章 平面図形の計量21.22.23.24.25						2
	14	第9章 平面図形の計量26.27.28.29						1
	15	第9章 平面図形の計量30.31.32.33						1
	16	第9章 平面図形の計量34.35.36						2
	17	第10章 立体図形の計量1.2.3.4.5						1
	18	第10章 立体図形の計量5.6.7						1
	19	第10章 立体図形の計量8.9						1
	20	確認テスト						2
	21	公務員試験過去問解説						8
	22							
	23							
	24							
25								
	合計時間数						35	
教科書	大原テキスト、実践問題集							
時間外学習	授業で学んだ問題を再度解くようにする。							
	問題集で類似問題を解く。(5問程度)							
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価							
	学校基準により4段階評価とする							
担当詳細	教員		備考					
	実務経験紹介							

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	資料解釈	担当者	少貳 孝弘	科目必修区分	必修
授業概要	表やグラフを読み取り、割合を算出し、その上で実生活に必要な資料や表の数値を読み取る能力を身に着ける。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 資料読み取りに関する知識を他者に説明することができる。 2. 表から問題解答に必要な数値を見つけ出し、解答を導きだすことができるようになる。 3. 講義や問題集における演習問題を解くことができるようになる。 4. 上記分野の評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第1節 実数 資料解釈の性質・解法			1
	2	第2節 割合・指数・前年比			1
	3	第3節 増加率			1
	4	第4節 いろいろな資料			1
	5	模擬試験解説。			11
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				15
教科書	資格の大原 公務員講座 数的推理編テキスト・問題集				
時間外学習	授業で学習した分野の類似問題を30分(本試験の時間配分を意識)で3問解く。				
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和7年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	文章理解	担当者	古堅 雄敏	科目必修区分	必修
授業概要	<p>実社会の業務に必要な文書読み取り能力向上に繋がる文章理解を文章の仕組の理解、要点を掴むことで身に付けさせる。また、ビジネス文書作成の基本となる作文を実践を重ね身に付けさせていく。</p> <p>現代文、古文、漢文、英文の読解力を高めるための基礎知識と問題の解法を習得する。</p>				
到達目標	<p>実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、言葉による見方や考え方を働かせ、文書を国語で的確に理解すると共に、効果的に表現する力を育成する。また、社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。</p>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	文章理解 文と文章 講義・解説			1
	2	文章理解 指示語・接続後 講義・解説			1
	3	文章理解 別紙要点まとめプリント 演習・解説			1
	4	文章理解 問題演習・解説			1
	5	作文の基本:作文の書き方 講義・演習			1
	6	作文の基本:作文の更生 講義・演習			1
	7	作文の基本:相手の共感を得るには 講義・演習			1
	8	公務員試験 過去問 作文演習(600文字)			5
	9	文章理解問題演習・解説(テキスト・実践問題集・模試問題)			4
	11	公務員試験過去問題演習・解説(公務員試験過去問プリント)			4
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
		合計時間数			
教科書	大原テキスト、実践問題集、模試問題、公務員試験過去問プリント				
時間外学習	<p>授業で学習した分野の類似問題を解く。(1問5分以内、計5問)</p> <p>解答を一度で終わらずに復習の時間で問題の解き直し等に取り組むと学習効果が高い。</p>				
成績評価方法	<p>出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価する。</p> <p>出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。</p>				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	演習	講義時期	前期
授業科目	公務員試験演習	担当者	片山 意大	科目必修区分	必修
授業概要	国家公務員及び地方公務員採用試験の模擬問題の演習を元に、公務員として必要な基礎的知識の理解及び定着を図り実践力を身に付ける。				
到達目標	1. 苦手分野の確認と克服。 2. 演習を繰り返すことで、公務員として必要な基礎的知識の定着を図る。 3. 公務員採用試験の1次試験合格。 4. 評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	直前模試 公務員総合第1回～第18回			54
	2	直前模試 公務員一般職第1回～第12回			36
	3	直前模試 地方初級 第1回～第18回			54
	4	全国公開模試 国家一般高卒程度 第1回～第3回			6
	5	全国公開模試 市役所・消防			2
	6	全国公開模試 警察官			3
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				155
教科書	直前模試(公務員総合・国家一般職・初級) 判定模試(秋受験・一般職) 公開模試				
時間外学習	正答・誤答問題の解きなおし、及び補完知識の学習を行うこと。				
成績評価方法	【出席(30P)】【授業態度(30P)】【評価テスト(40P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	実習・演習	講義時期	通年
授業科目	職業研究	担当者	森 祐樹	科目必修区分	必修
授業概要	官庁訪問、公務員及び民間企業の職業研究やインターンシップ、現職公務員及び公務員経験者や民間企業社員の講話、模擬面接等を通じ、社会人に求められる資質を高めることを目的とする。				
到達目標	志望する公務員や民間企業の職務内容に対する知識を持ち、業務遂行にあたり、求められる職業観や資質を高め、希望就職先の面接試験に合格できる基準を目標とする。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	現代に求められる公務員像と公務員試験について			1
	2	コミュニケーションエクササイズ			3
	3	挨拶訓練と模擬面接			4
	4	職業講話			6
	5	集団討論とプレゼンテーション			4
	6	裁判所見学と裁判傍聴			4
	7	防衛講話(災害派遣活動と安全保障について)			2
	8	沖縄税関及び沖縄県警察本部見学			4
	9	自衛隊基地見学			6
	10	公務員模擬面接演習			18
	11	NAHAマラソンによる地域活性化についての講話			1
	12	NAHAマラソンボランティア活動			8
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				61
教科書	各講義やプログラムでの配布資料				
時間外学習	各講義やプログラムの内容を確認し、インターネット等で講師のプロフィールや関係団体の活動内容について調べておくこと				
成績評価方法	【出席(20P)】【授業態度(40P)】【レポート(40P)】の計100点満点とし、4段階で評価する。 出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	予備自衛官(現職)				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	実習・演習	講義時期	後期
授業科目	卒業研究	担当者	崎原 竜作	科目必修区分	必修
授業概要	就職先の職務内容や課題について考察し、また自らの就職活動についてまとめる。 現代社会の現状や課題を把握し、改善点を考察する。 パワーポイントを作成し、まとめた内容のプレゼンテーションを行う。				
到達目標	1. 研究の成果をパワーポイントにまとめ、プレゼンテーションを行うことができる。 2. 現状と課題を考察し、自らの考えを発言することができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	「沖縄県が抱える諸問題」についての考察・小論文			1
	2	「日本と世界の諸問題」についての考察・小論文			1
	3	「メディア」についての考察・小論文			2
	4	「安全保障」についての考察・小論文			2
	5	就職先の職務内容の調べ学習・まとめ作業			4
	6	就職先の職務内容についてパワーポイントを作成 発表			8
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				18
教科書					
時間外 学習	各小論文のテーマについて前もって調べておくこと 各省庁のHPで掲載されている白書を読み、日本の現状を調べる。				
成績評価 方法	【出席(20P)】【授業態度(20P)】【課題・発表(60P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科		授業方法	演習・講義		講義時期	後期		
授業科目	情報科学演習(文書作成)		担当者	下地 マリア		科目必修区分	必修		
授業概要	パソコンを操作するうえで最も基本的な”文字入力”をマスターします。文字が速ければ速いほど仕事の処理能力にも直結します。自己流の打ち方(俗にいう”癖”)ではいつか限界が来ます。正確なタッチメソッド(運指法)を学ぶことで練習量に比例した成長が出来る基礎を作ります。								
到達目標	①キーボードを見ずに”タッチタイピング”が出来、10分間で”300字以上”の文字入力ができる。 ②Microsoft Wordの基本機能を使い、”通信文のルールに沿った”バランスの良い書類を作成することが出来る。 ③ワープロ検定3級以上の合格を目標とする。								
授業計画	内 容						授業時間数		
	1	スケジュール確認、PC環境の確認、アプリケーションの準備(MIKATYPE)						1	
	2	ポジション練習①(MIKATYPEを使用してタッチタイピングの徹底)						3	
	3	ポジション練習②(課題:ホームポジション→上段→全段)						3	
	4	ポジション練習③(ローマ単語練習)						3	
	5	速度練習①(速度試験ルールを学ぶ)						2	
	6	速度練習②(各受験級の設定文字数超えを目指す)						2	
	7	通信文練習①(各級ごとの通信文試験のルールを学ぶ)						2	
	8	通信文練習②(時間内にバランスよく仕上げられるように練習)						2	
	9	総合練習(速度試験、通信文試験を時間内に基準点超えを目指す)						4	
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
	21								
	22								
	23								
	合計時間数							22	
教科書	なし(適宜学校で用意します)								
時間外学習	実習動画の視聴(タイピングやPC操作に関するもの)								
	自宅にPCがある場合はブラインドタッチの練習								
成績評価方法	【出席(10P)】【確認テスト(10P)】【授業態度(10P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(65P)】で評価 学校基準により4段階評価とする								
担当詳細	教員		備考						
	実務経験紹介								

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	演習・講義	講義時期	後期
授業科目	情報科学演習(表計算)	担当者	崎原 竜作	科目必修区分	必修
授業概要	・表計算ソフト(Microsoft Excel)を用いてビジネス社会における簡単なワークシートの作成とソフトの基本操作を身につける。				
到達目標	・簡単な表作成ができ、印刷ができる。 ・数式や簡単な関数を用いて実務的な書類を作成できる。 ・表計算検定3級の取得				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション 表計算ソフトとは セルに入力できるデータの種類 四則演算 数式のコピー			2
	2	表作成 列幅・行高の設定 罫線 セルの書式設定 (フォント 配置 表示形式)			2
	3	関数①(SUM AVERAGE MAX MIN) 数式のコピー(書式なしコピー)			2
	4	関数②(COUNT ROUND IF RANK.EQ)			2
	5	データベース(並べ替え) 印刷設定			2
	6	書類作成(確認演習)			2
	7	書類作成(確認演習)			2
	8	検定問題 答案作成練習(第131回過去問題)			2
	9	検定問題 答案作成練習(第132回過去問題)			2
	10	検定問題 答案作成練習(第133回過去問題)			2
	11	検定問題 答案作成練習(第134回過去問題)			2
	12	検定問題 答案作成練習(第135回過去問題)			2
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	合計時間数				24
教科書	テキストは無し 情報科学演習(表計算)の過去問題				
時間外 学習					
成績評価 方法	出席(5点) 確認テスト(5点) 授業態度(5点) 課題・発表(5点) 評価テスト(80点)で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	演習・講義	講義時期	後期
授業科目	ビジネスマナー	担当者	瀧石 智美	科目必修区分	必修
授業概要	実社会では、様々な方との関りで業務を進めていくため、社会人としての心構えとビジネスマナーを身に着ける必要があります。公務員面接採用試験対策を踏まえ、事務職や接客業に付随する業務を、実技を交え「知っている」ではなく「実践している」を目指します。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの気持ちを持ち、柔らかい表情や丁寧な言葉づかいで接することができる ・感じの良い来客対応や電話対応ができる ・個人情報の取り扱い方、事務関連業務の種類と適切な対応が分かる 				
授業計画	内 容				授業時間数
1	第1章:社会人としての心構え ・自己紹介 ・組織とは ・時代環境 ・どんな社会人になりたいか				2
2	第2章:ビジネスコミュニケーション ・話の仕方、聞き方 ・指示や報告 ・敬語の基本(練習問題)				2
3	第3章:電話対応のマナー ・基本の流れ ・不在時の電話対応 ・伝言メモ作成 ・ロールプレイング2				2
4	第3章:電話対応のマナー ・ロールプレイング ・ケーススタディー				2
5	第4.5.6章:来客対応・訪問・席次のマナー ・接遇の重要性 ・名刺の取扱い ・飲み物接待				1
6	個人情報の取り扱い方 ビジネス文書の知識(書類の種類、押印、郵便の知識)				1
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
	合計時間数				10
教科書	知っておきたい ビジネスのマナー(ウィネット)				
時間外学習	授業で理解し習得した内容を日々活用する				
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	OA機器・自動車販売系企業での営業職歴 4年				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	実習・講義	講義時期	通年
授業科目	総合学習	担当者	崎原	科目必修区分	必修
授業概要	教育理念に掲げる「豊かな人間性」を育むため、学内外の様々な授業や行事を通して協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける科目として位置付ける。				
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【入学オリエンテーション】 目標設定、学生の手引き読み合わせ、校長講話、リレーションエクササイズ			10
	2	【ヒューマンスキル合宿】 チームビルディングを学ぶ			14
	3	【新入生歓迎会】 大原・エルケア合同の全体スポーツ大会			6
	4	【ビーチパーティ】 大原・エルケア合同のビーチパーティ			6
	5	スポーツ実習			6
	6	メディアリテラシー			4
	7	作文演習			6
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				52
教科書					
時間外 学習	各授業・行事における事前準備や調べ学習を指示。				
	前後の各実施委員会活動に参加すること。				
成績評価 方法	【出席(20P)】【授業態度(40P)】【レポート(40P)】の計100点満点とし、4段階で評価する。				
	出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	演習・実習	講義時期	通年
授業科目	公務員の職務と倫理	担当者	森 祐樹	科目必修区分	必修
授業概要	素直、明朗、気配り、感謝、プラス思考など普遍的な価値について学んだ上で公務員に求められる倫理について考え、個々人の志を立てるための精神的基盤を整える。				
到達目標	公務員として求められる資質について理解を深め、公務員として活躍できるように必要な素直さや気配り、プラス思考などの素養を身につける。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目オリエンテーション			4
	2	感謝する心の大切さについて			3
	3	官民の「協働」の意味について			2
	4	公務員に求められるモラル・マナーについて			2
	5	表情や態度の印象が与える影響について			2
	6	よりよい人間関係を築く「挨拶」の重要性について			2
	7	成長するために必要な「素直さ」について			2
	8	プラス思考について			2
	9	目標設定と目標達成力について			2
	10	「永久戦力(活躍し続ける人材)」になるために必要な能力と考え方について			2
	11	志講演会			6
	12	自身のロールモデル作成			3
	13	ロールモデル プレゼンテーション			3
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	合計時間数				35
教科書	志学テキストⅠ・Ⅱ、教員配布資料、DVD教材、Q&A 国家公務員倫理法・倫理規程(人事院)				
時間外学習	各省庁ホームページ、パンフレット等で職務研究、情報収集を行うこと。				
成績評価方法	出席(20P)【授業態度(40P)】【レポート(40P)】の計100点満点とし、授業に取り組む姿勢や理解度を総合し、4段階(優・良・可・不可)で評価する。				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	予備自衛官(現職)				

シラバス

令和 7 年度

学校名： 沖縄大原簿記公務員専門学校

学科・学年	公務員専攻科	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	一般教養総合	担当者	崎原	科目必修区分	必修
授業概要	<p>I：公務員の教養試験として出題される社会科学、人文科学、自然科学、数的推理、課題処理の各分野の総合演習と解説授業を行う。また、公務員模擬試験を実施し、各分野の知識と解法の定着と公務員試験合格基準の実力を養成する。</p> <p>II：面接対策における自己表現を身に付けるための自己分析と職業研究を行い、面接における実践力を養成する。</p>				
到達目標	<p>1. 公務員試験の教養試験に出題される全範囲の知識と解法を身に付け、解答を導くことができる。</p> <p>2. 評価テストにおいて平均正答率80%を目標とする。</p> <p>3. 自分の言葉で聞かれた質問に対して丁寧に返答をすることができる。</p>				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	社会科学分野(政治・経済・社会)における総合演習と解説			7
	2	人文科学分野(世界史・日本史・地理)における総合演習と解説			10
	3	自然科学分野(物理・化学・生物・地学)における総合演習と解説			5
	4	数的処理・空間把握分野における総合演習と解説			10
	5	課題処理・資料解釈分野における総合演習と解説			10
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				42
教科書	大原テキスト、スタンダード問題集、実践問題集、ドリル、プリント				
時間外学習	<p>授業で学習した分野の類似問題の演習</p> <p>復習の時間でノート作成や問題の解き直しを行うこと</p>				
成績評価方法	<p>出席(10) 確認テスト(10) 授業態度(10) 課題・発表(5) 評価テスト(65) 計100点満点で評価する。</p> <p>出席率が80%未満の場合は他の項目の点数の如何を問わず不可とする。</p>				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					